

スーパーカクテル^{デュオ} FOODs

調味料・食品原材料製造卸売業事例集

業務用乳製品製造業、醤油・みそ製造業、調味料製造業、植物油脂製造業、調味料・香辛料製造業、果実飲料・シロップ製造業、小麦粉製造業



業務用乳製品製造業

調味料・食品原材料製造卸売業事例集001



<お客様プロフィール>

年商 約150億円
 取扱商品 練乳、粉乳、バター
 ソフトミックス、ナッツなど
 導入システム スーパーカクテル デュオ FOODs
 スーパーカクテル デュオ 会計

導入前の課題

- 商品・原料のロット別の在庫管理を実現したい
 - ・ OEM商品や支給原料の管理は現場任せ。本部でも、在庫把握や出荷調整を行いたい。
 - ・ レシピ（処方）に基づき、先入先出しでの原料払出を行いたい。
- 標準原価と実際原価の差異管理を行いたい
 - ・ 労務費・経費を踏まえた実績集計ができず、製品個別原価が把握できない。
 - ・ 工場別、ライン別、商品別での製造原価を把握したい。

解決策

- 製販統合のシステムによりロット別物流在庫をリアルタイムに把握する仕組みを構築
 - ・ 入荷日・製造日毎のロット在庫を把握し、先入先出しでの在庫管理を実現。
 - ・ 出荷ロットの逆転防止や得意先からの指定ロットでの出荷に対応。
- 製品別原価管理の仕組みを構築
 - ・ 労務費・経費等の変動費を網羅した製品別原価管理を実現。
 - ・ 複雑な原料/仕掛品（N）：製品/仕掛品/副産物（N）の製造品の個別原価管理を実現。

導入後の効果

- トータルシステム構築による業務効率化
 - ・ 各種システムをデータ連携させたことにより、業務負荷の大幅軽減を実現した。
 - ・ 在庫管理精度向上により、計画的で無駄の少ない生産計画と在庫管理を実現した。
- 現状把握とデータ活用の徹底による経営品質の向上
 - ・ 工場・ライン・商品別の実際原価を把握することで、早期の問題特定と対策を実現した。
 - ・ BIツール活用により、蓄積されたデータを適切な経営判断ができるようになった。
 - ・ 実績データの把握による経営判断の迅速化と、明確な経営指標を確立することができた。
- 社員の業務意識向上
 - ・ 管理基準が高まったことにより、各社員の業務意識改革を実現した。

システムの特徴

Point1 得意先からの指定ロットでの出荷に対応

預り商品・OEM商品など、得意先からの指定ロットでの出荷指示に対応しています。また、得意先毎にロット逆転出荷防止や単一ロットでの出荷指定が可能です。

【預り在庫ロット検索】
 商品・倉庫・得意先毎にロット別の預り在庫管理に対応。
 出荷倉庫（営業倉庫含む）毎にロット指定の出荷指示を行うことが可能です。

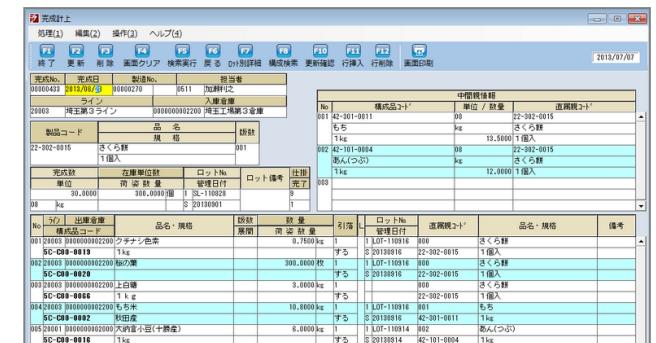


【得意先詳細登録】
 得意先毎に出荷時のロット管理方法の設定が可能。設定条件に合わない場合はエラーが通知されます。

Point2 複雑な原料/仕掛品（N）：製品/仕掛品/副産物（N）の製造に対応

N：Nの製造にも対応しており、複数の原料・仕掛品の投入や製造時の副産物もロット別に管理できます。完成品毎の個別製造原価や歩留の算出も可能です。

【完成計上】
 計量指示により準備された原料及び仕掛品を投入し、実際に完成された実績を入力。
 製造時の副産物もしっかり管理を行い、歩留や個別製造原価の算出を行います。



Point3 標準原価と予定原価、実際原価の差異管理を実現

①商品毎の標準原価算出基準、②製造指示による予定原価、③完成実績による実際原価の差異管理により可視化を実現。定期的な原価シミュレーションにより、問題の早期対策を行います。

【商品詳細登録/原価マスタ】
 ①標準原価より生産計画時に算出した想定原価、②製造指示時の予定原価、③完成時の実際原価の3つを対比して差異管理を行うことで、原価と問題点を可視化。
 原料価格の変動や間接費の変動をシミュレーションしながら定期的な原価の見直しを行い、問題提起や経営判断の材料として活用することができます。



醤油・みそ製造業

調味料・食品原材料製造卸売業事例集002



<お客様プロフィール>

年商 約10億円
 取扱商品 醤油・味噌
 導入システム スーパーカクテル デュオ FOODs

導入前の課題

- 消費者や得意先からの品質に関する問合せに迅速に対応したい
 - ・ ロット別在庫管理・賞味期限管理がシステム化されておらず、システム上でのトレーサビリティが実現できていないため、問合せに迅速に対応できていない。
- 業務効率化を推進したい
 - ・ データの重複入力の削減やHHTの活用などにより、業務効率化を実現したい。

解決策

- 製販一体型システムによるトレーサビリティシステムを構築
 - ・ 購買から製造、販売まで一気通貫したシステムを実現した。
 - ・ 原材料や(半)製品をロット別に在庫管理し、原材料の入荷、製品の製造、出荷時のロット入力を徹底した。
- HHTによる業務効率化の仕組み構築
 - ・ ラベル発行処理(製品、原料、資材等のラベル印字 ロット情報記載)とHHTによる入出庫管理の仕組みを構築した。

導入後の効果

- 顧客満足度の向上
 - ・ 顧客からの問合せに迅速に対応することにより、さらなる信頼を獲得することができた。
 - ・ 賞味期限切れロットなどの誤出荷を防止することにより、顧客満足度の向上が実現できた。
- 業務の効率化と品質向上を実現
 - ・ HHTの利用により入力業務が効率化され、入力間違いなどのミスも防ぐことができた。

システムの特徴

Point1 HHT・ラベル発行処理による業務効率化

原料・資材入荷、製品出荷業務の効率化を実現します。

【サンプルラベル】
 製品、原料、資材等にロット情報を記載したラベルを印字し貼付け。
 入出荷業務をHHTで運用することでミスの防止と業務効率化を実現。



品名/規格	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	
ロット	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
ロットNo.	9999999999	
賞味期限	YYYY/MM/DD	
入荷日付	YYYY/MM/DD	
仕入先	NNNNNNNNNN	

Point2 トレーサビリティの徹底

食品業界に必要とされる「食の安心・安全」の徹底におけるトレーサビリティを実現します。製造時の投入原料や製品出荷の履歴をロット別に追跡(トレース)することが可能です。

【構成使用製品問合せ画面】

※1 明細表示順
 0: 完成日、完成No 順
 1: 製品・半製品コード、完成日、完成No 順

『完成No』ドリルダウン
 ・完成伝票照会

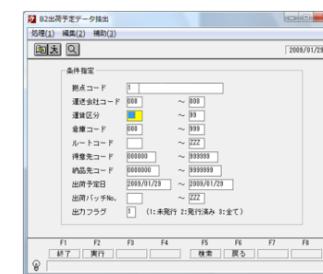
『ロットNo.』ドリルダウン
 ・ロット別出荷履歴問合せ
 ・倉庫別商品元帳問合せ
 ・構成使用履歴問合せ(バックトレース)
 ・構成使用製品問合せ(フォワードトレース)

Point3 送り状発行システムとデータ連携による業務効率化

受注データを「送り状発行システム」と連携にすることにより、データの二重入力を防止します。

【運用イメージ】

【B2出荷予定データ抽出】



出荷予定データ (CSV) を抽出

送り状発行ソフト B2

【送り状発行(外部データ取込)】



調味料製造業

調味料・食品原材料製造卸売業事例集003



<お客様プロフィール>

年商 約20億円
 取扱商品 各種調味料、料理用ソース、ドレッシング等
 導入システム スーパーカクテルデュオ FOODs

導入前の課題

- 正確な製造原価を把握したい
 - ・ 原材料高騰の影響で利益が圧迫されており、より正確な製造原価情報を把握する必要性がでてきた。
- 得意先からの要望に対応したい
 - ・ 得意先からの「前回の納品より賞味期限の新しい品を納品して欲しい」という要望に対応する必要がある。

解決策

- 極力少ない入力項目での原価管理が可能なシステムを構築
 - ・ 無理のない運用で正確な製造原価が把握できるシステムを構築した。
- ロット別賞味期限管理と得意先別出荷履歴管理のシステム化
 - ・ ロット別賞味期限別の在庫管理を徹底。
 - ・ 得意先毎の出荷ロット管理を行うことで、前回出荷よりも古い商品を出荷することを防止した。

導入後の効果

- 利益率の向上
 - ・ 原価管理を行うことで不採算商品を発見することができ、価格の見直しや商品改廃などの判断が適切に行えるようになった。
 - ・ 賞味期限管理を徹底したことにより、廃棄ロスの削減につながった。
- 顧客満足度の向上
 - ・ 得意先からの要望に対応することで、顧客満足度向上につながった。

システムの特徴

Point1 原価管理の徹底

標準工数・按分基準マスタを使用することで、極力少ない入力で経費・労務費の登録を行うことが可能です。

工数入力

労務費入力

経費入力

各種原価管理資料が作成可能です。

- ・ 製造原価内訳表
- ・ 製品別構成品使用実績表
- ・ 製造実績比較表 等

Point2 賞味期限の逆転防止

得意先マスタの設定に応じ、取引先別に出荷ロットの履歴を管理。「前回出荷よりも新しい賞味期限の商品を出荷してほしい」といった得意先からの要望への対応を支援します。

【受注計上画面】

受注計上

最新出荷管理日以前の日付が入力されました。

顧客からの厳しい要望に応え、顧客の信頼・満足度を向上します。

植物油脂製造業

調味料・食品原材料製造卸売業事例集004



<お客様プロフィール>

年商 約124億円
 取扱商品 植物油脂、ショートニング
 導入システム スーパーカクテルデュオ FOODs

導入前の課題

- 正確な在庫が分からない
 - ・ 原材料、半製品、製品の在庫管理精度を向上させ、廃棄ロスを削減したい。
- 製造原価管理を徹底したい
 - ・ 原材料費だけでなく、経費、労務費も加味した原価管理を行いたい。
- 消費者や得意先からの品質に関する問合せに迅速に対応したい
 - ・ ロット別在庫管理・賞味期限管理がシステム化されておらず、システム上でのトレーサビリティが実現できていないため、問合せに迅速に対応できていない。

解決策

- 構成マスタをシステム上で管理
 - ・ 製造実績のデータを入力し、原材料とともに半製品在庫の管理を実現。
- 原価管理システムの構築
 - ・ 製造に要した労務費、経費を登録。工数等による按分で製造ラインへ配賦。
- 製販一体型システムによるトレーサビリティシステムを構築
 - ・ 購買から製造、販売まで一貫通貫したシステムを実現。
 - ・ 原材料、半製品、製品をロット別に在庫管理し、原材料の入荷、製品の製造、出荷時のロット入力を徹底。

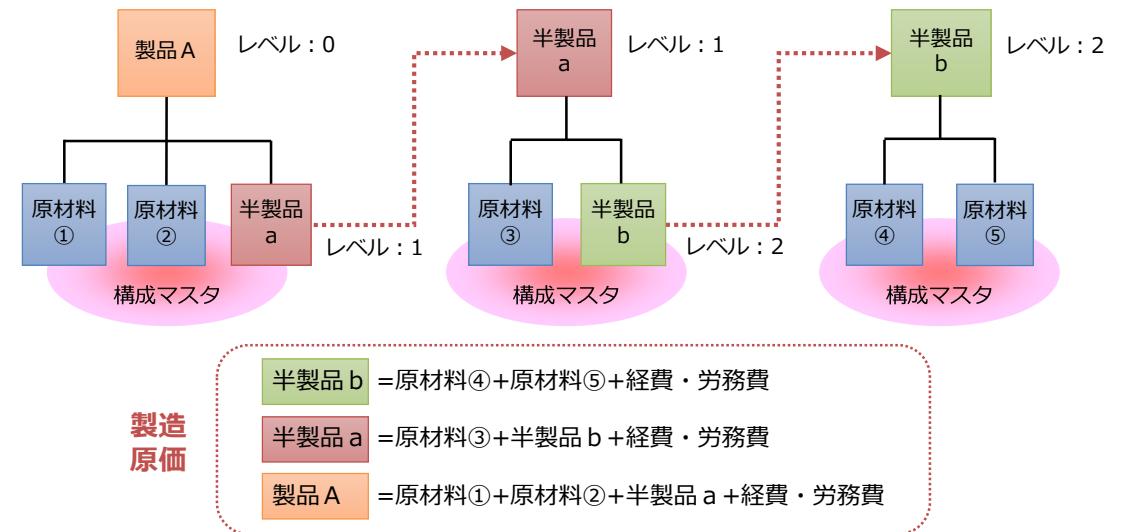
導入後の効果

- 経営品質の向上
 - ・ 製品の実際原価を把握することで、実態に合った利益管理が行えるようになった。
 - ・ 在庫精度が向上したことで、廃棄ロスの削減や原材料・資材の適正な発注が可能となった。
- 顧客満足度の向上
 - ・ 顧客からの問合せに迅速に対応することにより、さらなる信頼を獲得することができた。
 - ・ 賞味期限切れロットなどの誤出荷を防止することにより、顧客満足度の向上が実現できた。

システムの特徴

Point1 原価管理システムの導入

製品、半製品ごとに構成マスタを作成。製造にかかったコスト（原材料・労務費・経費）をライン内で製造された製品・半製品に配賦します。



Point2 製品の製造予定に基づく半製品製造指示や資材発注が可能

製品の製造予定と予定在庫にもとづき、半製品の製造指示や原料・資材の発注を行うことが可能です。



Point3 トレーサビリティシステムの構築

原料・半製品・製品のロット別在庫管理を実現しています。原料入荷、加工、製品出荷まで一貫したトレースを行うことができます。

調味料・香辛料製造業

調味料・食品原材料製造卸売業事例集005



<お客様プロフィール>

年商 約15億円
 取扱商品 調味料、香辛料
 導入システム スーパーカクテル デュオ FOODs

導入前の課題

- ロット別の製品管理が煩雑
 - ・ロット管理や賞味期限管理ができていないため、入出荷時のトレースをするのに時間がかかっており、顧客からの問い合わせに迅速に対応できない。
- 在庫管理精度が低い
 - ・製品、原料、資材在庫がシステム化されておらず、在庫数が合わない。
 - ・生産計画にもとづく資材・原料発注ができない。
- 製品別売上実績や製品別原価の把握
 - ・製品別の原価を把握できていない為、取引先との価格交渉の根拠を示せない。

解決策

- 製販一体型システムによるトレーサビリティシステムを構築
 - ・購買から製造、販売まで一貫通貫したシステムを実現。
 - ・原材料や(半)製品をロット別に在庫管理し、原材料の入荷、製品の製造、出荷時のロット入力を徹底。
- 在庫管理をシステム化
 - ・製品、原料、資材の在庫をシステム化することで、リアルタイムかつ正確な在庫管理を実現。
- 製品別利益・原価の把握ができる仕組みを構築
 - ・製品別の売上実績や在庫の回転状況を把握し、商品開発や販売予測の品質向上を目指す。
 - ・システムに原価要素を入力することで、製品別の実際原価を把握する。

導入後の効果

- 顧客満足度の向上
 - ・得意先からの製品品質に関する問合せについて、迅速に対応することにより、顧客満足度の向上につながった。
- 経営判断の迅速化、経営品質の向上
 - ・実績把握の精度が高まったことで経営判断が迅速化された。
 - ・全社の受注状況、在庫状況などが共有されることで、社員の経営状況に対する意識が高まった。

システムの特徴

Point1 食の安心・安全を実現

原料・半製品・製品のロット別在庫管理を実現しています。
 原料入荷、加工、製品出荷まで一貫した追跡を行うことができます。

【構成使用履歴問合せ】

【ロット別現在在庫問合せ】

ロットNo	消費期限	倉庫	在庫単位	商妥単位	最終入荷日	最終出荷日
090324-LWS	2013/09/24	0000000000100	5.0000	0.4167	2013/06/28	2013/09/12
091122-LWD	2013/12/22	0000000000100	324.0000	27.0000	2013/08/25	2013/08/25
091124-EIC	2013/12/24	0000000000100	275.0000	22.9167	2013/08/25	2013/08/25
091224-DBC	2013/12/24	0000000000100	227.0000	18.9167	2013/08/24	2013/09/01
091224-EEB	2013/12/24	0000000000100	343.0000	28.5833	2013/08/24	2013/09/03
100125-FED	2014/01/25	0000000000100	46.0000	3.8333	2013/08/25	2013/07/26
11-109-A	2013/11/09	0000000000100	-58.0000	-4.8333	2013/06/01	2013/09/08
11-109-A	2013/11/09	0000000000100	3.0000	0.2500	2013/06/01	2013/09/08
11-109-A	2013/12/31	0000000000100	12.0000	1.0000		2013/08/25
A	2013/06/19	0000000000100	-41.0000	-3.4167		2013/06/20
A	2013/06/20	0000000000100	-55.0000	-4.5833		2013/06/20
A	2013/07/26	0000000000100	-1.0000	-0.0833		2013/07/26
AAA	2014/03/21	0000000000100	600.0000	50.0000	2014/03/21	
B	2013/06/19	0000000000100	-4.0000	-0.3333		2013/06/19
B	2013/06/20	0000000000100	-7.0000	-0.5833		2013/06/20

Point2 運用に合わせた原価管理が可能

各製品毎に異なる原価計算に対応しており、工場・ライン別の原価予実を把握できます。
 また、原価要素を変動させながら、製品の原価シミュレーションが可能です。



各種原価管理資料が作成可能です。
 ・製造原価内訳表
 ・製品別構成使用実績表
 ・製造実績比較表 等

単位	原材料費	直接賦課経費	製造原単価	売上単価	粗利益	損益分岐点
枚(合計)	19,880	23,768	90.15	120.00	119,403	2,225
140.00	310,797	167,280	360.591	480,000	24.88	267,000

小麦粉製造業

調味料・食品原材料製造卸売業事例集007



<お客様プロフィール>

年商 約50億円
 取扱商品 麺、お菓子、パン用小麦粉
 導入システム スーパーカクテルデュオ 販売EOS名人

導入前の課題

- 出荷履歴、原料使用履歴をトレースできない
 - ・ロット管理をシステム化し、トレーサビリティシステムを実現したい。
- 在庫管理を徹底したい
 - ・システム在庫の精度が低く、月末の在庫把握や生産実績の把握が煩雑である。
 - ・セット品の管理ができないため、売上処理や在庫管理業務に時間がかかる。

解決策

- ロット別トレーサビリティシステムの構築
 - ・原料・半製品のロット別在庫管理のシステム化を実現した。
 - ・出荷ロット、使用ロットを管理することによりトレーサビリティを実現した。
- 在庫管理精度の向上
 - ・入出荷時のロット入力を徹底し、システム在庫の精度を向上させた。
 - ・セット品の加工をシステム化することで、構成品の在庫払い出しを自動化した。

導入後の効果

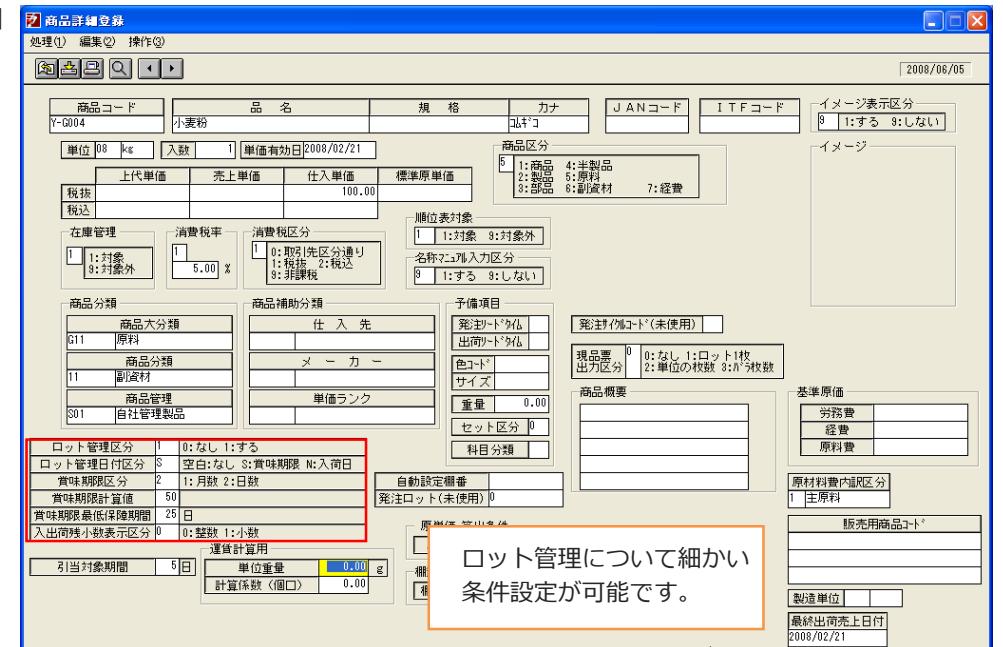
- 顧客満足度の向上
 - ・トレーサビリティシステムを構築したことで、顧客からの問合せに迅速に対応ができるようになった。
- 出荷業務の効率化
 - ・セット品の在庫をシステム化することより出荷作業が効率化し、コスト削減につながった。

システムの特徴

Point1 ロット管理～出荷トレース機能

ロット管理の方法は商品別に細かく設定することが可能です。

【商品マスタ】



Point2 賞味期限の逆転防止

得意先マスタの設定に応じ、取引先別に出荷ロットの履歴を管理。「前回出荷よりも新しい賞味期限の商品を出荷してほしい」といった得意先からの要望への対応を支援します。

【受注計上画面】

